第14回ＪＡあきた白神女性部大会

第14回ＪＡあきた白神女性部大会が、２月２日にサンルーラル大潟で開かれ、平成29年度の女性部活動の報告や講話、交流会などを通じて、次年度も魅力のある活動を行い、部員の輪を広げ、食と農を通じて地域を元気にする決意を新たにしました。

大会には各地区の女性部員約210人が参加。はじめに佐々木博子女性部長が「女性部員の減少や高齢化が進んでいるが、このような状況だからこそお互いに助け合い、手を取り合うことが大切。女性が輝く時代となり、これからは、自分たちから声を出し、ＪＡと共に歩んでいきたい。また、女性部員だけでなくＪＡをはじめとした組織、私たちの子ども、孫を守るためにも食と農をこれからも大切にしていきたい。今後もこの女性部の活性化につながるよう、みんなで声を掛け合っていきましょう」とあいさつしました。

←女性部活動の重要性を話した佐々木部長

各支部からの活動報告発表では、食農教育の取り組みとして、畑作体験や巻き寿司作りなどが発表されたほか、料理講習会の開催や花壇整備といった各支部が今年度取り組んだ活動が報告されました。

←各支部からの様々な活動が報告されました

午後からは「ＪＡ介護予防運動」として、ＪＡ秋田中央会の加藤茜氏を講師に招き、転倒予防と尿失禁予防の２つの目的でプログラムされているＪＡてんとうムシ体操とＪＡみつばち体操を行いました。その他にも、各支部からのアトラクションの披露や大賑わいだった食品や衣料の即売会、会場から悲鳴にも似た歓声が上がったお楽しみ抽選会などが行われ、部員達は楽しいひと時を過ごしていました。

↑趣向を凝らしたアトラクションも披露されました

↑冬期講座などで作った作品も展示されました

↑大盛況だった即売会